

## 道内課題解決へ

### 産学官セミナー

産学官25機関で構成し、道内の課題解決に取り組む「チャレンジフィールド北海道」のキックオフセミナーが26日、札幌市内で開かれ、組織の概要や参画機関の現在の取り組みなどが紹介された。

オンライン中継を含め、関係者ら約140人が出席した。北見工業大は、小樽商大、帯広畜産大と共同で、道産品の輸出強化に向けて、鮮度向上や物流の効率化などに取り組む「道産品域外出荷促進協議会（仮称）」を立ち上げることなどを紹介。公立はこたて未来大は、人工知能（AI）配車システム「SAVS（サ

ブス）」に関する取り組みを説明した。

チャレンジフィールド北海道には、北大や樽商大など7大学に加え、道、札幌市、道経連などが参画。経済産業省が本年度創設した

地域課題の解決に向けた取り組みを支援する「産学融合先導モデル拠点創出プログラム」の対象になっており、年間7500万円を上限に、5年間助成を受ける。

（土屋航）